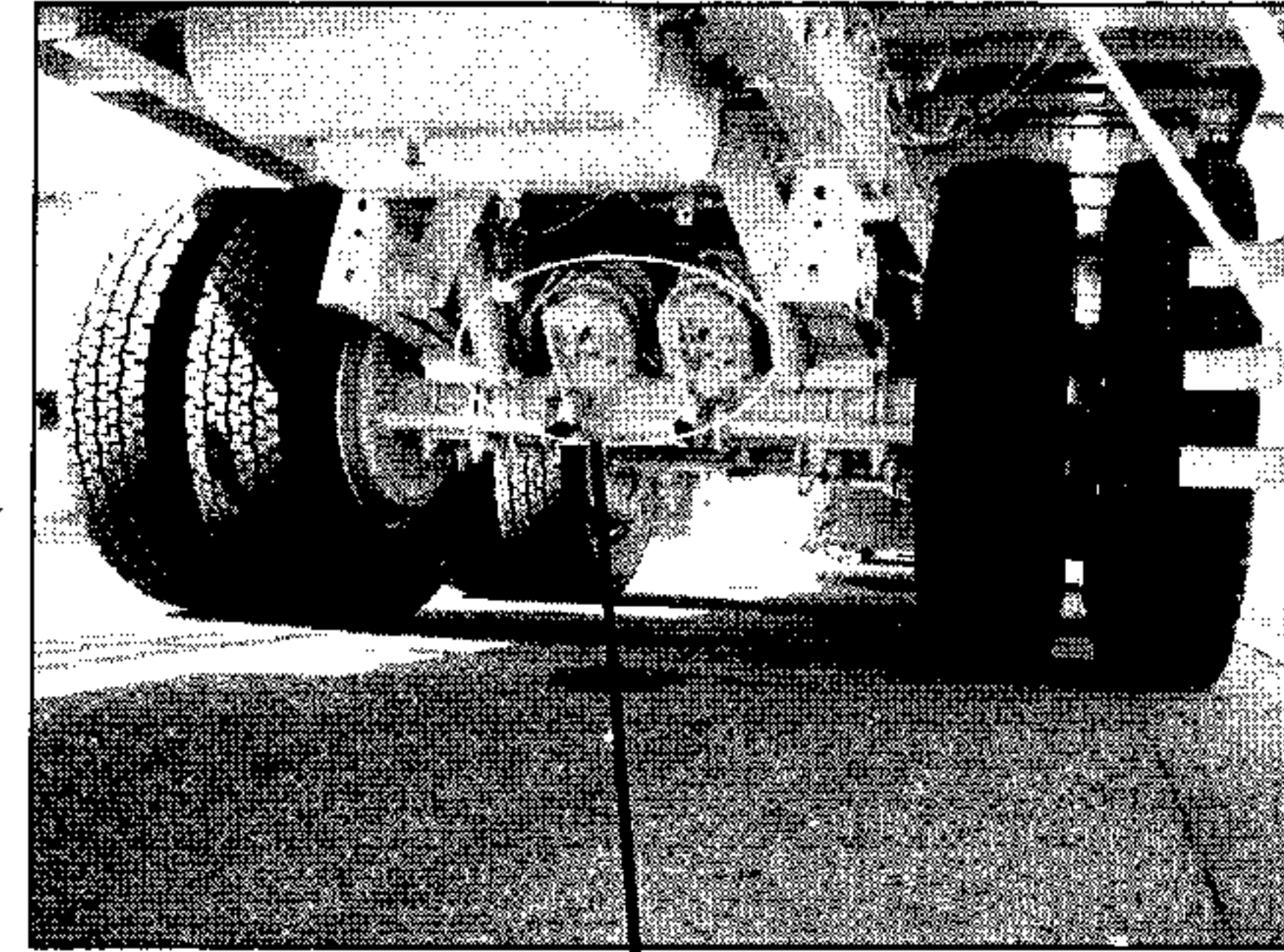
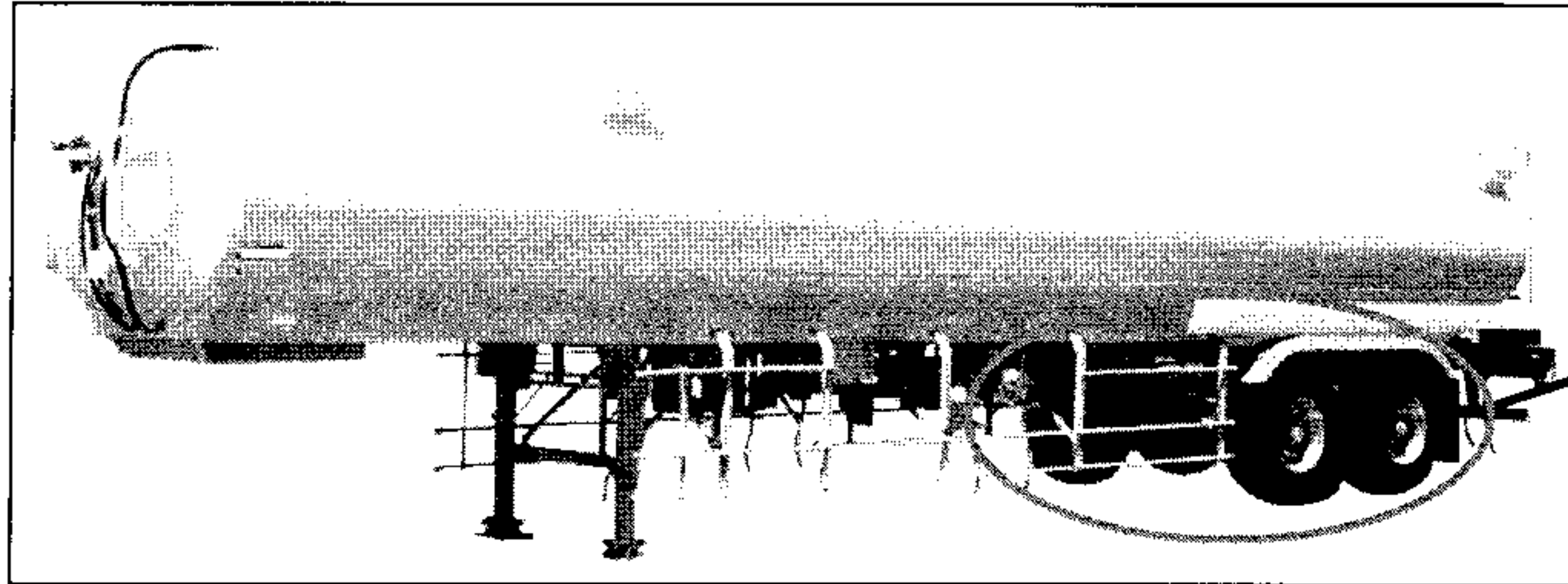
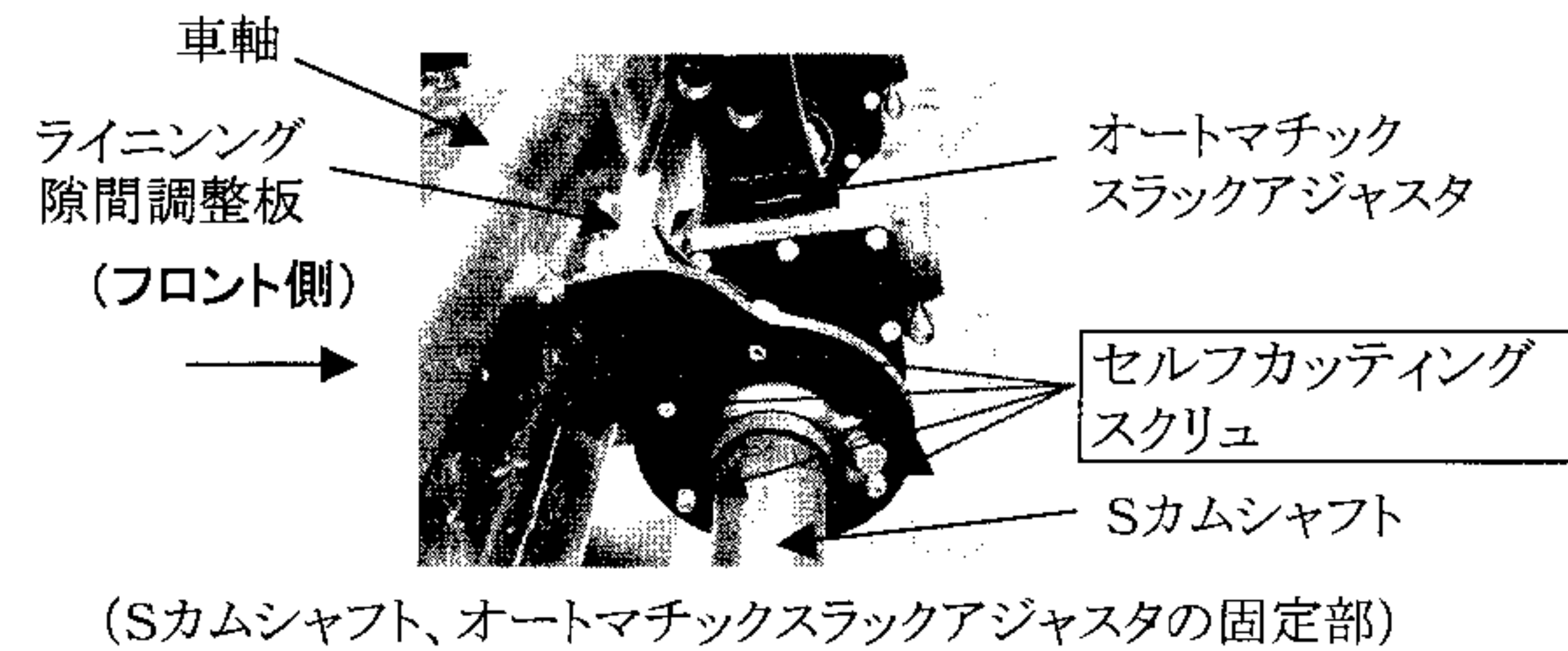


改善箇所説明図

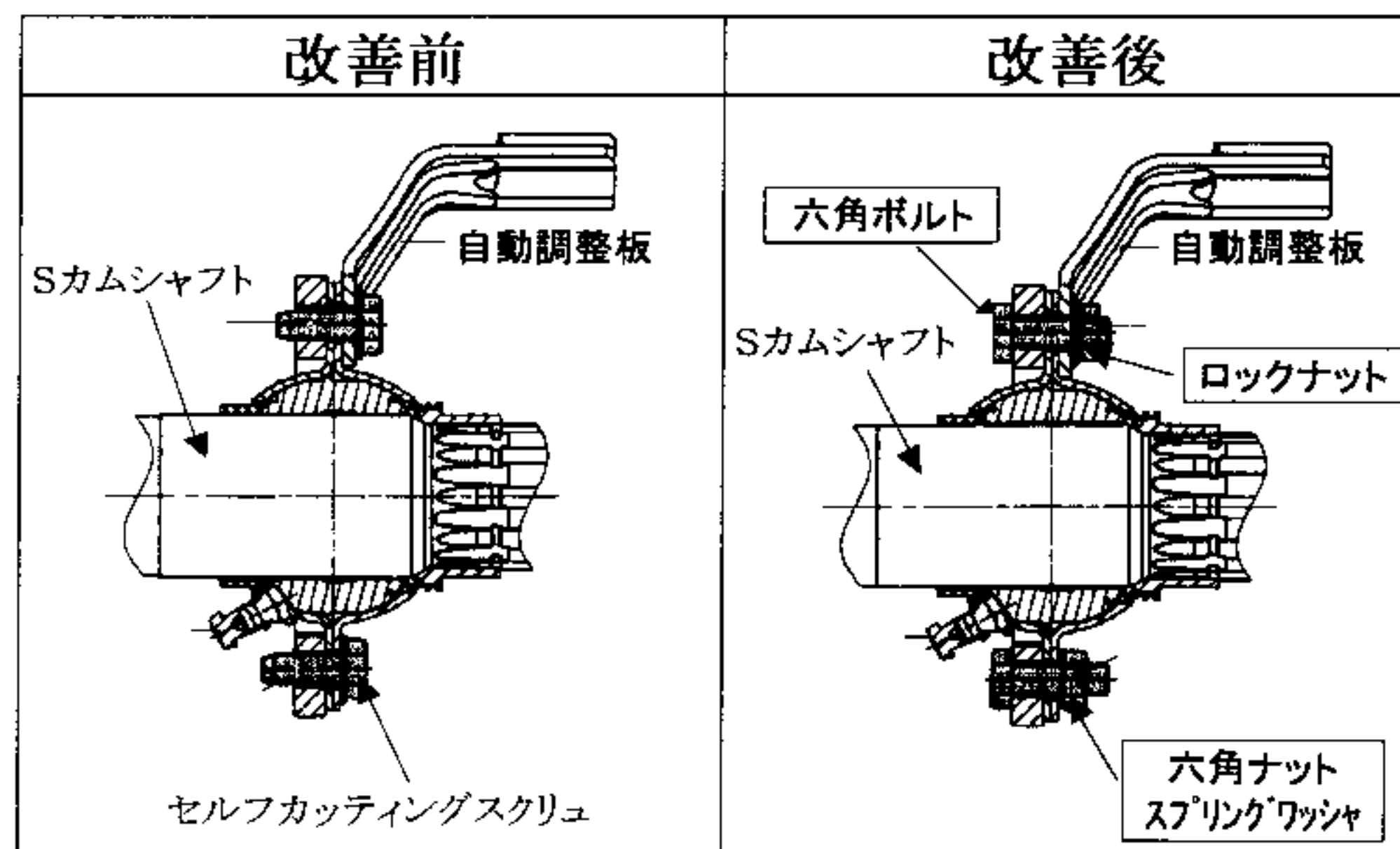


(前側より車軸部を見る)



改善の内容

全車両、セルフカッティングスクリュを対策品(ボルト、ナット)と交換する。



基準不適合発生箇所

ライニング隙間調整板等を固定しているセルフカッティングスクリュの熱処理が不適切なため、当該スクリュの強度が不足しているものがあり、そのまま使用を続けると、当該スクリュの頭部が折損することがある。そのため、ライニング隙間調整板が脱落するとともに、ブレーキドラムとブレーキライニングの隙間を自動的に調整することができなくなるおそれがある。

注: は交換部品を示す。